



水産情報速報版

H19. 5. 2 No.1234
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 県下沿海地区漁協 役員改選のお知らせ

3、4月に総(代)会等を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了による役員改選等を行った漁協の組合長及び常勤役員等が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

漁協名	代表理事組合長	その他役員
伊東市	佐藤 亘 (新)	専務 日吉紀治 (新)
稲取	佐藤紀男 (新)	
南伊豆町	真下五十吉 (新)	
田子	岡部福治 (新)	専務 山本廣康 (新)
安良里	近藤 安 (再)	
土肥	長田傳之進 (再)	
田子の浦	外山廣文 (再)	
由比港	宮原淳一 (再)	専務 實石正則 (新)
静岡	斉藤政和 (新)	専務 杉山 繁 (新)
焼津	西川徳市 (再)	
小川	橋ヶ谷善生 (再)	
大井川町	谷澤輝雄 (再)	
吉田町	久米 勇 (再)	
相良	萩原徳治 (新)	専務 秋野正和 (新)

2. 平成19年度入学式を挙行 - 県立漁業高等学園 -

県立漁業高等学園(上村信夫園長)では、4月9日、平成19年度入学式(第37期生)を挙行しました。

式典では、上村園長から航海科2名、機関科1名の入学決定がされ、引き続き式辞が述べられました。そして、来賓の牛島就業支援局長、戸本焼津市長、西川後援会長(本会会長)から夫々祝辞が述べられました。

その後、新入生を代表して航海科の水上秋蛭君が「友と助け合い学習に励み、本県の良き漁業後継者となるよう努力します」との誓いの言葉を述べ閉会となりました。新入生は全員寮に入り、漁船運航に関する基礎知識とロープワークや漁具製作などの基礎技術の習得や漁船員に必要な様々な資格を取得をするほか、約1ヶ月に亘る乗船実習でカツオ釣りなどの実習を行うなど、漁業に従事するための必要な知識、技術、体力を身に付け、卒業後は現場の即戦力として県内漁船に乗船する事となります。

3. 第71回大漁祈願祭を挙行 大漁満足と航海の安全を祈願

本会及び県信用漁連では、4月13日三島大社において水産関連団体の協賛により、第71回大漁祈願祭を挙行しました。

同祈願祭は、わが国最初の漁業法が誕生した明治34年4月13日を記念して、昭和8

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

年に定められた水産デー(祭り)の主行事として実施されたもので、昭和9年に第1回が行われて以来、戦時中の2年間を除いて毎年恒例行事として執り行われてきました。

当日は、県を始め、本県漁業関係者約50名が参列するとともに、本殿神前には各漁協から持ち寄られたタイ、カツオ、サクラエビ等の海の幸が供えられ、禰宜や巫女による「八乙女の舞」「人長の舞」が奉納された後、本会、県信漁連、県、地区運営委員会及び水産関連団体の代表者が順次玉串を奉奠して、本年の大漁満足と航海の安全を祈願しました。

4. 口坂本の森クラブ活動 漁業者グループが下刈りを実施

去る4月21日、県中部農林事務所の指導協力のもと、本会・県信漁連の職員、生協の組合員や由比港漁協女性部員等18名が参加して、静岡市葵区口坂本(静岡悠久の森)において、春の雑草等の下刈りに汗を流しました。当日は昼食に、由比港漁協女性部員による、地元特産のサクラエビを使ったかき揚げが調理され参加者に振舞われました。このような地道な活動の結果が、豊かな漁場を育む「漁民の森」として大きく成長することが期待されます。なお、本会では、県の指導協力を得て平成11年から「口坂本の森クラブ」に参画して、年3回(春、夏、秋)水産関係団体及び生協の組合員とともに森づくり活動を実施しています。

5. 平成19年度水産事業概要説明会が開催 - 県産業部水産業局・建設部港湾局 -

県産業部水産業局、建設部港湾局では、4月24日県男女共同参画センター「あざれあ」において、県下漁協組合長、水産関係団体役職員、市町村担当者等約100名の出席を得て「平成19年度水産事業概要説明会」を開催しました。

説明会では、坂水産業局長から「静岡県農林水産業新世紀ビジョン」を踏まえた今後三年間の県の水産行政の基本方針として、新たに作成した「静岡県水産基本政策プログラム」及び19年度県水産予算概要の説明がありました。引き続き、水産業局の各室長、建設部の漁港整備室長、水産技術研究所長、漁業高等学園長から夫々の本年度取り組む主要事業について説明が行われました。なお、平成19年度の水産関係予算は、5,947百万円(18年度当初予算6,208百万円、4.2%減)となっています。

6. 食材提供インターネットサイトに「獲れたて旬魚市場」開設 - JFグループ -

全国各地の漁協、漁連がインターネットサイト「ぐるなびPRO」を利用して飲食店に水産物を提供する「獲れたて旬魚市場(しゅんぎょいちば)」が4月16日にオープンしました。この事業は、ロットがまとまらないため既存の大量流通に乗りにくかった前浜の魚の販路を開拓するために、水産庁が漁業情報サービスセンターを事業主体として手当した支援事業です。

現時点でホームページに掲載されているのは、1次募集に応じたJF千葉漁連の「千葉県産活あさり」、JF長崎漁連の「長崎鮮魚ボックス」、JF魚津の「釜上げホタルイカ」などの1道6県の8品目です。本県からは、2次募集に応じたJF内浦が養殖マダイ、マアジ、JF富士養鱒がニジマスでエントリーする予定です。なお、同サイトでの購入受付は、5月8日からとなります。

ホームページアドレス http://pro.gnavi.co.jp/group_buy_fish/top.html

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう